

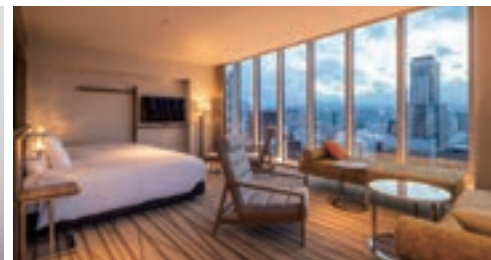
BUSINESS REPORT

お客様の衣食住遊を豊かにする

株式会社ベルーナ

第49期 株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日



BELLUNA

証券コード：9997



インバウンド需要の拡大を好機と捉え、
ホテル事業を成長ドライバーと位置づけ注力。
消費マインドの影響を受けにくい
専門的事業領域の安定的な拡大も進める。

代表取締役社長 安野 清

当社グループを取り巻く市場環境

日本経済は、堅調な企業業績や景況感の改善、国内個人消費の回復、インバウンド消費の増加など景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で原材料・資源価格の高止まりや人件費の高騰、天候不順などにより物価上昇圧力が強い状態が続き、先行きの不透明な状況が続きました。また、足元では米国新政権による関税政策をめぐり世界経済の悪化懸念が発生し、先行きの不透明感が増大しました。

当期の概況

当連結会計年度の売上高は210,856百万円（前年同期比1.2%増）となり、営業利益は11,887百万円（同21.5%増）、経常利益は13,255百万円（同12.0%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は8,797

百万円（同50.7%増）となりました。

財政状況に関しましては、流動資産は、前連結会計年度末比1,482百万円増加し、131,443百万円となりました。これは主に、仕掛販売用不動産が1,514百万円減少した一方で、営業貸付金が2,716百万円、販売用不動産が2,053百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比10,288百万円増加し、181,018百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が9,782百万円減少した一方で、建物及び構築物が18,560百万円、のれんが1,637百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末比2,409百万円増加し、61,616百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,332百万円、電子記録債務が2,423百万円、1年内償還予定の社債が5,010百万円減少した一方

財務ハイライト（連結）

売上高	2,108.6億円（前年同期比1.2%増）
営業利益	118.9億円（前年同期比21.5%増）
経常利益	132.6億円（前年同期比12.0%増）
親会社株主に帰属する 当期純利益	88.0億円（前年同期比50.7%増）

で、短期借入金が11,758百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比3,886百万円増加し、109,189百万円となりました。これは主に、長期借入金が4,290百万円増加したことによるものであります。

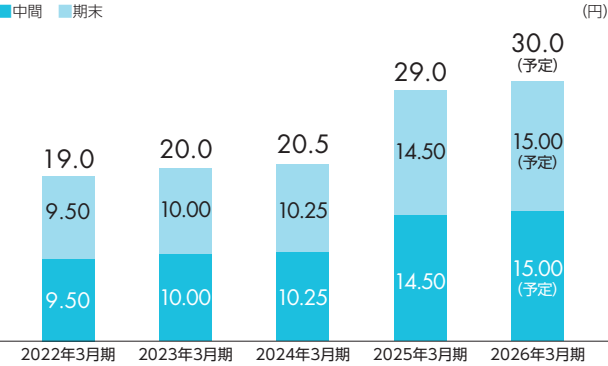
当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末比5,474百万円増加し、141,656百万円となりました。この結果、自己資本比率は45.2%となりました。

次期の見通し

今後の日本経済は、景気回復基調が持続し、雇用・所得環境の改善が図られ景気が緩やかに回復していくことが期待されます。特にインバウンド需要は、当面は力強く推移するものと見込まれます。一方で物価上昇に伴う消費マインドの停滞、長期化する不安定な世界情勢、米国新政権による通商政策の動向など、依然として先行き是不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、インバウンド需要の更なる拡大を好機と捉え、ホテル展開を軸としたプロパ

1株当たり配当金の推移



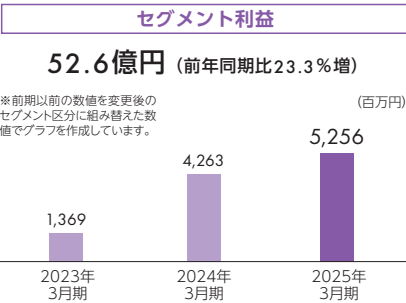
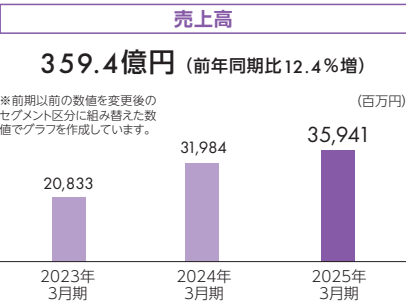
ティ事業を当社グループの重要な成長ドライバーと位置づけ注力して参ります。これに加え、化粧品健康食品事業、グルメ事業、ナース関連事業といった消費マインドの影響を受けにくい専門的事業領域の成長を優先し安定的な拡大を進めます。アパレル・雑貨事業におきましては新規顧客獲得の水準を維持し、リピート率も回復させることで事業規模と効率を改善しセグメント営業利益の早期黒字化を目指して参ります。

次期連結業績予想については、売上高は214,600百万円、営業利益は13,500百万円、経常利益は13,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は9,500百万円となる見通しです。現在の見通しには、潜在的なリスクや不確実性を含んでおり、本資料発表時点で想定しうる影響額及び足元の状況を織り込んでおりますが、これらの見通しとは異なる結果になる可能性があります。今後、新たに業績見通しが変動する場合には、速やかにお知らせします。

株主の皆様におかれましては、当社グループへの変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

プロパティ・ホテル事業

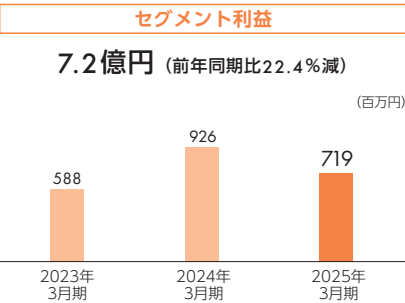
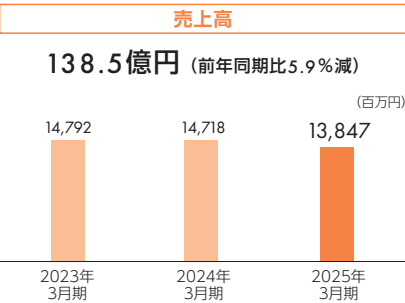
- ・ホテル事業
- ・不動産事業（オフィスビルなどの賃貸・開発・販売）
- ・太陽光発電事業
- ・飲食店事業



国内リゾート型ホテルにおいては、稼働率や客室単価の上昇により増収増益となり、その他のエリアのホテルも売上・利益は総じて堅調に推移しました。国内都市型ホテルにおいては、運営しているすべてのホテルが増収増益となりました。海外ホテル事業においても堅調に推移し増収増益となりました。この結果、売上高は359.4億円（同12.4％増）となり、セグメント利益は52.6億円（同23.3％増）となりました。

化粧品健康食品事業

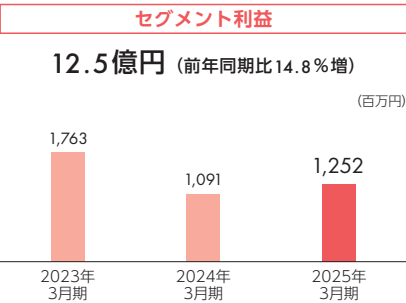
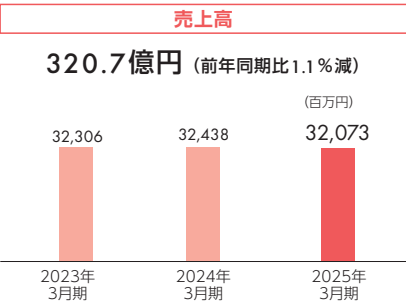
- ・化粧品通販（オージオ・なちゅライフ）
- ・健康食品通販（リフレ）



新規顧客の獲得数は堅調に推移した一方、新規購入者の定期コースの継続率低下などにより減収減益となりました。健康食品通販事業においては、新規顧客の獲得効率は改善しているものの、定期コースへの引上げや定期コース顧客の継続率の改善が図れず減収減益となりました。この結果、売上高は138.5億円（同5.9％減）となり、セグメント利益は7.2億円（同22.4％減）となりました。

グルメ事業

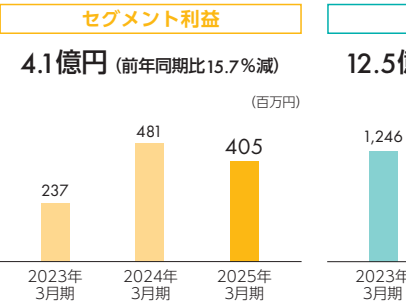
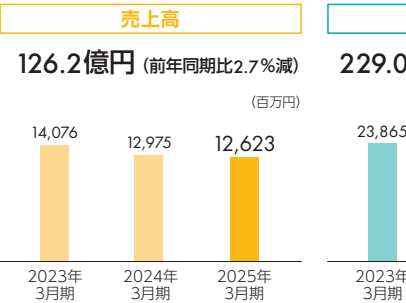
- ・食品通販、日本酒通販
- ・ワイン通販



グルメ通販事業においては、食品単品の売上が前年同期と比べ好調に推移したものの、酒ジャンルは横ばい、ギフトジャンルは苦戦しました。ワイン通販事業においては、売上は前年同期と比べ微増であったものの、商品配送体制の見直しや年度後半より新規顧客の獲得が好調に推移したため収益性が改善しました。この結果、売上高は320.7億円（同1.1％減）となり、セグメント利益は12.5億円（同14.8％増）となりました。

ナース関連事業

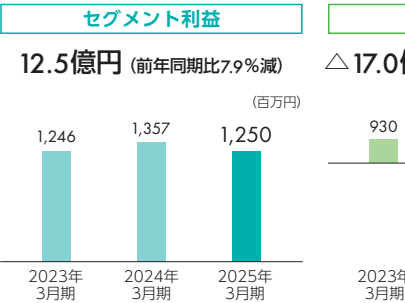
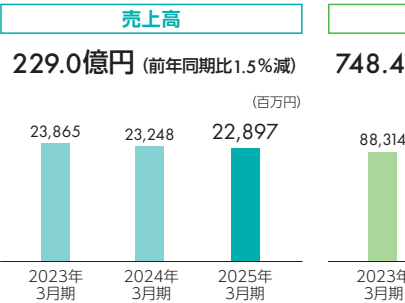
- ・看護師向け通販（ナースリー・アンファミ工）
- ・看護師人材紹介（JOB STUDIO）



看護師向け通販事業においては、円安の進行や原材料・資材の高止まりを受け仕入原価が上昇したため、収益性を重視し一部販売経路において商品価格の見直しやカタログ媒体の発行数を抑制しましたが減収減益となりました。この結果、売上高は126.2億円（同2.7％減）となり、セグメント利益は4.1億円（同15.7％減）となりました。

呉服関連事業

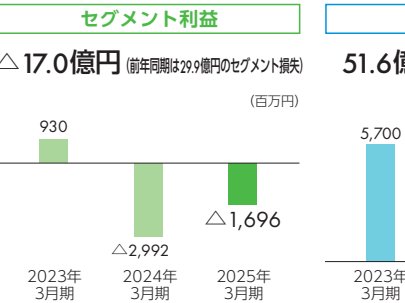
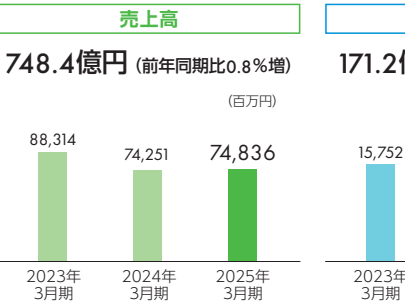
- ・和装店舗（BANKANわものや・さが美・東京ますいわ屋）
- ・大学生の卒業式袴レンタル（マイム）



和装販売事業においては、不採算店舗の閉店による売上・稼働顧客数の減少、既存店舗における新規顧客獲得数の減少などにより減収減益となりました。衣裳レンタル事業においては、卒業式袴レンタルの受注増加などにより増収増益となりました。この結果、売上高は229.0億円（同1.5％減）となり、セグメント利益は12.5億円（同7.9％増）となりました。

アパレル・雑貨事業

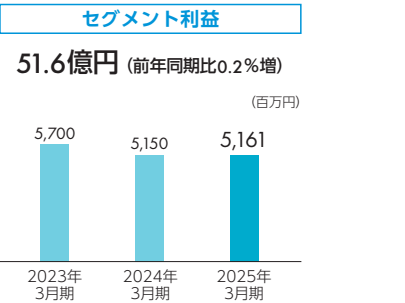
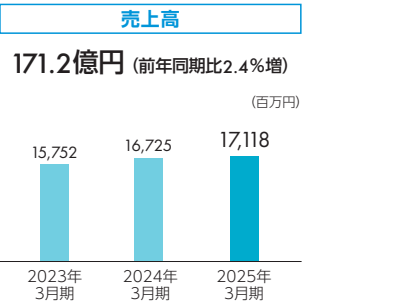
- ・ミセス層中心のカタログ、ネット通販
- ・ネット専業通販（ミン・アイシーネット・丸長・セレクト）
- ・アパレル店舗（BELLUNA）



アパレル・雑貨通販事業においては、新規顧客数は獲得効率が改善したことにより増加したものの、稼働顧客数は既存顧客のリピート率が計画に届かず横ばいとなりました。この結果、売上高は748.4億円（同0.8％増）となり、セグメント損失は17.0億円（前年同期は29.9億円のセグメント損失）となりました。

データベース活用事業

- ・封入・同送サービス（ペルーナダイレクト）
- ・通販代行サービス（BBS）
- ・ファイナンス事業（ペルーナノータイス）
- ・物流3PL事業（BGL・レーベル）



封入・同送サービス事業においては、増収増益、フルフィルメント受託サービス事業においては、減収減益となりました。ファイナンス事業においては、新規顧客が前年同期と比べ効率的に獲得できたことにより増収増益となりました。この結果、売上高は171.2億円（同2.4％増）となり、セグメント利益は51.6億円（同0.2％増）となりました。

メディアでの紹介・掲載多数！ 全605室の大規模ホテル「札幌ホテル by グランベル」 札幌駅前に2025年3月1日開業



当社子会社である株式会社グランベルホテルは、2025年3月1日に北海道札幌市に「札幌ホテル by グランベル」を開業いたしました。

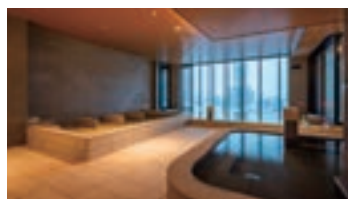
札幌ホテル by グランベルは、札幌市街地で最大級となる全605室の客室と、1,924人の収容人数を誇る、グランベルホテルグループのプレミアムタイプホテルです。当初は2025年4月の開業を予定していましたが、ホテル需要が高まるハイシーズンの利用客取り込みを目指し、計画よりも早期の開業を実現しました。

大きな窓から札幌の景色を眺望できる25階の露天風呂付きスパ&サウナや、高さ100mからの夜景が魅力的なレストランも併設する同ホテル。北海道の玄関口である札幌駅前にふさわしいホテルとして、心身ともにリラックスできる心地良いひとときをご提供します。

札幌ホテル by グランベル

所在地	北海道札幌市東区北6条東2丁目2-2
アクセス	JR札幌駅16番出口 徒歩7分
客室数	全605室(8タイプ)
フロア	1階：フロント・オープンテラス付メインダイニング 2～24階：客室 25～26階：SKY SPA 26階：レストラン
公式サイト	https://www.granbellhotel.jp/sapporoby/
グランベルホテルグループ	https://granbellhotel.com/ (グランベルホテルグループ公式HP)

公式サイト

グランベル
ホテルグループ

厳選された世界のこだわりのお酒をもっと世の中に届けたい！

「My Wine Club」通販国内売上高16年連続No.1を獲得

ワイン専門通販「My Wine Club (マイワインクラブ)」は、東京商工リサーチの「国内ワイン通販市場シェアに関する調査」で、通販国内売上高16年連続No.1を獲得しました。今後も、世界17ヵ国から厳選した美味しいワインをお客様へお手頃価格で提供し続けてまいります。



My Wine Club
(マイワインクラブ)

<https://mywineclub.com/>



ウイスキー・スピリッツ専門サイト「MALKS」がオープン

ブランドウイスキーから独占輸入ブランド商品まで扱うウイスキー・スピリッツ専門サイト「MALKS (モルクス)」を2024年10月1日にオープンしました。これまで培ってきた専門通販サイトの運営ノウハウを生かし、ウイスキー、スピリッツの魅力をお伝えしてまいります。



MALKS (モルクス)

<https://www.malks.jp/>



当社グループのホテルが各種ランキング&Awardで高評価を獲得！

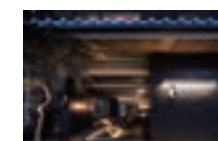
当社子会社である株式会社グランベルホテルが運営するホテルやリゾート施設が、本年度も様々なランキング&Awardで高い評価を獲得いたしました。今後も皆様に特別な体験と滞在時間をご提供できるよう、グループを挙げて精進してまいります。



ルグラン軽井沢ホテル&リゾート ウエディング

「みんなのウェディング 2024年口コミランキング※1」
軽井沢エリア 総合ジャンル 総合ランキング 4年連続1位！

所在地：長野県北佐久郡軽井沢町発地864-4
客室数：全58室
<https://www.legrand-karuizawaresort.jp/>



京都グランベルホテル

Booking.com
「Traveller Review Awards 2025※2」4年連続受賞！

所在地：京都府京都市東山区大和太路通四条下ル大和町27番
客室数：全105室
<https://www.granbellhotel.jp/kyoto/>



裏磐梯レイクリゾート

JTB協定旅館ホテル連盟
「2024年度宿泊アンケート※3」「サービス部門」表彰！

所在地：福島県耶麻郡北塩原村大字松原字湯平山1171-1
客室数：全324室
<https://www.lakeresort.jp/>



※1 日本最大級の結婚式場口コミ情報サイト「みんなのウェディング」が利用者の評価をもとに発表するランキング

※2 数百万件を超える口コミスコアに基づき、旅行者の思い出に貢献した施設・企業に贈られる賞

※3 利用者からの宿泊アンケートに基づき、優れたサービスを提供している宿泊施設を毎年表彰

当社では、株主の皆様からの日頃のご支援に対する感謝の気持ちを込めまして、株主優待制度をご用意しています。**1「優待割引券、優待ポイント」**または**「自社取扱商品」**及び**2「ベルーナグループが運営及び提携するホテル、飲食店、小幡郷ゴルフ倶楽部、SPA & SAUNA コリドーの湯で使用できる優待割引券」**をご利用いただけます。内容やご利用方法をご確認の上、ぜひご利用いただければ幸いです。今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株主優待内容

1「優待割引券、優待ポイント」または「自社取扱商品」から選択

1 当社運営の通信販売で使用できる優待割引券



2 ベルーナオンラインストアで使用できる優待ポイント



3 自社取扱の食品またはワインまたは日本酒



※お届け時期については「株主優待のご案内」をご参照ください

保有株式数	優待の内容 優待割引券、優待ポイントまたは自社取扱商品から選択
100株以上500株未満	1 1,000円分の通信販売優待割引券 2 1,000円分の優待ポイント 3 1,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒
500株以上1,000株未満	1 3,000円分の通信販売優待割引券 2 3,000円分の優待ポイント 3 3,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒
1,000株以上	1 5,000円分の通信販売優待割引券 2 5,000円分の優待ポイント 3 5,000円相当の自社取扱の食品またはワインまたは日本酒

2 ベルーナグループが運営及び提携する国内ホテル、飲食店、小幡郷ゴルフ倶楽部、SPA & SAUNA コリドーの湯で使用できる優待割引券

ホテル	飲食店	その他
 銀座ホテル by グランベル (東京) ・札幌ホテル by グランベル (北海道) ・洞爺サンパレス リゾート&スパ (北海道) ・ザ・レイクスweet湖の栖 (北海道) ・ニュー阿寒ホテル (北海道) ・定山渓ビューホテル (北海道) ・札幌グランベルホテル狸小路 (北海道) ・すすきのグランベルホテル (北海道) ・山の神温泉優香苑 ※ (岩手) ・裏磐梯レイクリゾート (福島) ・ルグラン旧軽井沢 (長野) ・ルグラン軽井沢ホテル&リゾート (長野) ・那須塩原ステーションホテル ※ (栃木) ※提携ホテル	 銀座のステーキ ・銀座のステーキ 銀座本店 (東京) ・銀座のステーキ 銀座中央店 (東京) ・銀座のステーキ 渋谷店 (東京) ・銀座のステーキ 恵比寿店 (東京) ・銀座のステーキ 赤坂店 (東京) ・銀座の蕎麦屋 (東京) ・鉄板料亭 銀座まつさか (東京)	 小幡郷ゴルフ倶楽部 (群馬)  SPA & SAUNA コリドーの湯 (東京) ・小幡郷ゴルフ倶楽部 (群馬) ・SPA & SAUNA コリドーの湯 (東京)

保有株式数	優待の内容
100株以上500株未満	券面額 1,000円の割引券 2枚
500株以上1,000株未満	券面額 1,000円の割引券 6枚
1,000株以上	券面額 1,000円の割引券 10枚

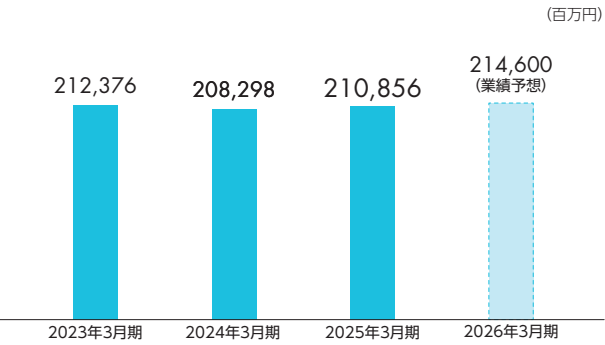
※ご利用は現地決済に限り、事前決済は適用不可となります。
※ご利用方法は「株主優待のご案内」のP10をご覧ください。

発送時期・有効期限		
	発送時期	有効期限
期末	6月下旬	7月1日～12月31日
中間	12月上旬	12月1日～6月30日

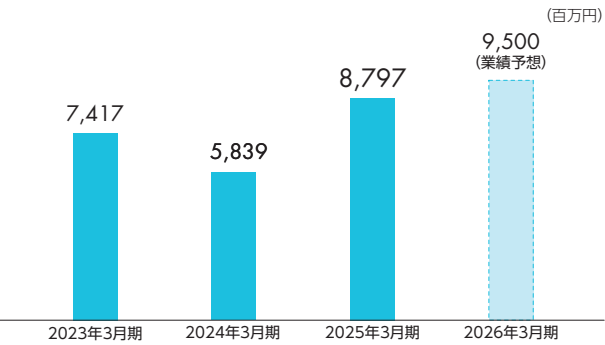
対象となる株主様

毎年3月末及び9月末の株主名簿に記載または記録された当社株式100株 (1 単元) 以上保有の株主様

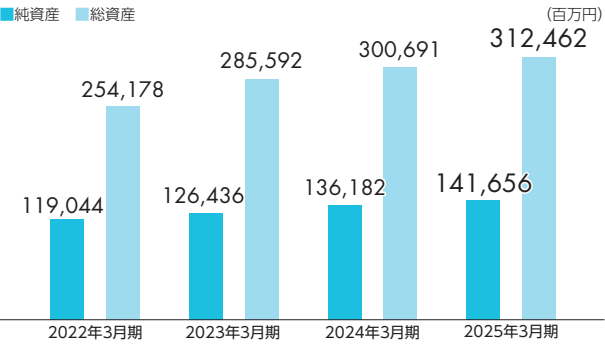
売上高



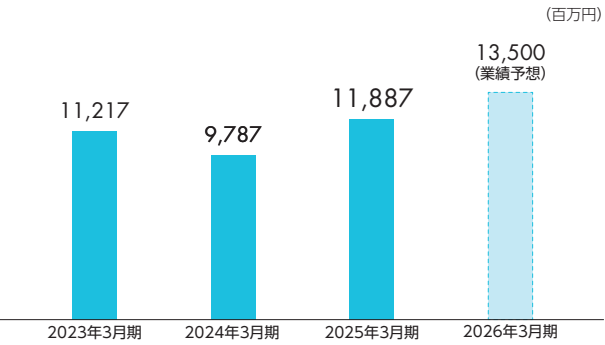
親会社株主に帰属する当期純利益



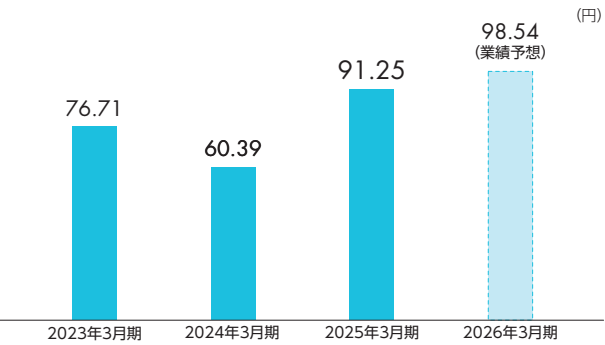
総資産・純資産



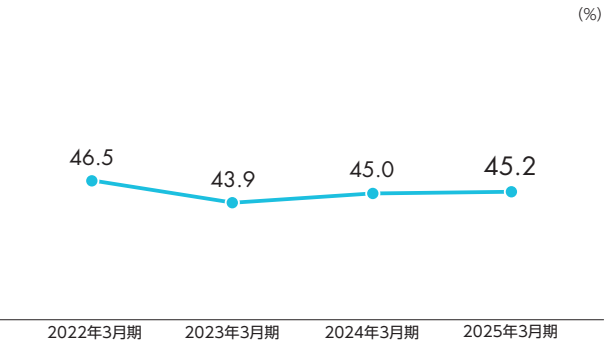
営業利益



1株当たり当期純利益



自己資本比率



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2024年3月31日現在	当連結会計年度 2025年3月31日現在
資産の部		
流動資産	129,961	131,443
固定資産	170,730	181,018
1 資産合計	300,691	312,462
負債・純資産の部		
流動負債	59,206	61,616
固定負債	105,302	109,189
2 負債合計	164,509	170,805
株主資本	133,652	140,149
その他の包括利益累計額	1,539	1,164
非支配株主持分	990	342
3 純資産合計	136,182	141,656
負債純資産合計	300,691	312,462

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

- ① 資産合計**
前期末に比べ11,770百万円増加しました。これは主に、流動資産において、営業貸付金、販売用不動産が増加したこと、また、固定資産において、建物及び構築物、のれんが増加したことによるものです。
- ② 負債合計**
前期末に比べ6,296百万円増加しました。これは主に、流動負債において、短期借入金が増加したこと、また、固定負債において、長期借入金が増加したことによるものです。
- ③ 純資産合計**
前期末に比べ5,474百万円増加しました。この結果、自己資本比率は45.2%となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2023年4月1日～ 2024年3月31日	当連結会計年度 2024年4月1日～ 2025年3月31日
売上高	208,298	210,856
売上総利益	126,345	129,251
営業利益	9,787	11,887
経常利益	11,831	13,255
税金等調整前当期純利益	9,772	13,211
法人税、住民税及び事業税	3,874	4,600
法人税等調整額	180	△219
当期純利益	5,717	8,829
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△121	32
親会社株主に帰属する当期純利益	5,839	8,797

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2023年4月1日～ 2024年3月31日	当連結会計年度 2024年4月1日～ 2025年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,770	9,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,403	△17,792
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,971	6,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,077	349
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,416	△1,032
現金及び現金同等物の期末残高	37,245	36,213

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

第49回定時株主総会決議ご通知

2025年6月26日開催の当社第49回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

- 報 告 事 項**
1. 第49期 (2024年4月1日から2025年3月31日まで) 事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第49期 (2024年4月1日から2025年3月31日まで) 計算書類の内容報告の件
- 本件は、上記事業報告、連結計算書類、計算書類の内容及び連結計算書類の監査結果を報告いたしました。
- 決 議 事 項**
- 第1号議案 剰余金処分の件**
- 本件は、原案のとおり承認可決されました。第49期期末配当金は、1株につき14.50円と決定いたしました。
- 第2号議案 取締役 (監査等委員であるものを除く。) 5名選任の件**
- 本件は、原案のとおり承認可決されました。取締役 (監査等委員であるものを除く。) に安野清、安野雄一郎、戸戸順子、松田智博、宮下正義の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第3号議案 監査等委員である取締役2名選任の件**
- 本件は、原案のとおり承認可決されました。監査等委員である取締役に山縣秀樹、渡部行光の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、山縣秀樹氏及び渡部行光氏は、社外取締役であります。

■ 会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)
資本金	106億12百万円
創設	1968年9月
設立	1977年6月
従業員数	3,884名 (連結)
事業内容	カタログ、ネット等による通信販売を核に、実店舗、受託、金融、プロパティ、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社

■ 役員

代表取締役社長	安野 清	社外取締役 (監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	安野 雄一郎	社外取締役 (監査等委員)	渡部 行光
取締役	穴戸 順子	社外取締役 (監査等委員)	浜本 淳子
取締役	松田 智博		
取締役	宮下 正義		

■ 主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東グルメオーダーレセプションセンター	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見ロジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)
大宮コンタクトセンター	(埼玉県さいたま市)
A-GEOタウン	(埼玉県上尾市)
アリコボールオフィス	(埼玉県上尾市)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,244,472株
株主数 (除く自己名義)	63,579名

■ 大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フレンドステージアセットマネジメント	41,383	43.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,174	7.5
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,206	3.3
安野 清	2,916	3.0
安野 公	2,914	3.0
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱UFJ銀行口)	1,968	2.0
ベルーナ共栄会	1,625	1.7
ベルーナ従業員持株会	1,060	1.1
株式会社日本カストディ銀行 (信託口4)	953	1.0

※持株比率は自己株式 (1,017,041 株) を考慮して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
18.1%	29.4%	44.4%	8.1%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領	期末配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	3月31日
株式の売買単位	100株
電子公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載 URL	公告掲載 URL
	https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/

株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
お問い合わせ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場

株式会社 **ベルーナ**

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4番2号

TEL 048-771-7753 (代表) <https://www.belluna.co.jp/>

